



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和8年3月2日 第11号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

人に勝つのではなく・・・

校長 小野満 賢

2026年2月22日に閉幕したミラノ・コルティナダンペッツォ冬季五輪において、日本選手団は合計24個のメダル（金5、銀7、銅12）を獲得し、冬季五輪における史上最多記録を大幅に更新しました。それまでは前回の2022年北京大会での18個（金3、銀6、銅9）が最多だったそうです。



私は東北の出身で、スキーやスケートが幼いころから身近だった（当時はスノーボードはありませんでした）にも関わらず、冬季オリンピックをしっかりと観た記憶がありません。しかし、今回のオリンピックは、LIVE中継でもじっくりと観ることができました。現地とは8時間の時差があり、くしくも私の目が覚める時間が、現地のゴールデンタイムだったこともその一因ですが、何よりも日本選手の連日の活躍ぶりから目が離せなかったのが大きいと思います。ニュースでもダイジェストでも特番でもその活躍の様子が放映され、何度も繰り返し観ていたので、終わってしまっただけではかなりのロス状態に陥っています。



個人的には、スキージャンプの団体戦で銅メダルが決まった時の高梨沙羅選手が団体の仲間に支えられながら流した涙や、フィギュアスケート男女ペアで失意のSP（ショートプログラム）5位から大逆転の金メダルに輝いた「りくりゅうペア」こと三浦璃来選手と木原龍一選手の歓喜の抱擁は今でも鮮明に思い出されます。他にも、直前の大会で複数の骨折をし、絶望的な状況のままこの大会に臨んだスノーボードハーフパイプの

第一人者、平野歩夢選手の満身創痕の中で見せた魂の滑りには感動しましたし、2002年のソチオリンピックから7回連続出場のスノーボード・アルペン競技の竹内智花選手の、予選敗退とはなりませんが、最後の滑走に大きな拍手を送りました。また、スピードスケートの高木美帆選手は、今大会で500m、1000m、団体パシュートの3種目で銅メダルを獲得し、五輪通算メダル数を10個（日本女子最多）に伸ばしました。1500mの世界記録保持者として、悲願の金メダルを目指し4年間努力を続けてきましたが、結果は悔しくもトップと0.77秒差の6位でした。レース後、こらえきれず涙を流す高木選手を、これまで支えてきたコーチや、現地で解説を務めていた姉の菜那さんが抱きしめて労う様子に、私も思わずもらい泣きしてしまいました。競技のプレッシャーから解放されたフィギュアスケートのメダリストたちが集結したエキシビションも見応えがありました。今年限りで引退する坂本花織選手や、初出場で銅メダルに輝き、間違いなく次世代を担う現役高校生の中井亜美選手の他、前述のりくりゅうペア、銀メダルの鍵山優真選手、銅メダルの佐藤駿選手も登場し、日本の層の厚さを感じました。

他にもここに紹介しきれない素晴らしいシーンがたくさんあります。皆さんは高校入試や学年末考査に向けて頑張っていたため、十分に見られなかったでしょうから、これから無料動画配信サービス等でぜひ見て欲しいと思っています。

今回のオリンピックで、私が何よりも素晴らしいと感じたのは、多くの種目で多くの選手が国境を超えて、ともに競い合った他の選手とハグをし、互いのパフォーマンスを称え合う場面がたくさんあったことです。スノーボード女子ビッグエアで金メダルを獲得した村瀬心椛選手は、後日行われたスロープスタイルでは大技を成功させるも、思ったように得点が伸びず、銅メダルとなってしまいました。結果に涙を流しながらも、金を獲得した深田茉莉選手に対して自分のことのように喜び、熱いハグで称えていたのが印象的でした。帰国した村瀬選手がテレビのインタビューでこう答えていました。「スノーボードは、人に勝つ競技ではなく、自分自身に勝つ競技なんです。」他者を打ち負かすことよりも、「自分ができる最高の滑り」を表現することに重きを置く競技で、選手たちは極限の緊張感の中で自分をコントロールし、命がけの大技に挑む苦しさや、あり得ないほどの練習量を誰よりも理解しているといいます。だからライバルが成功すれば、その「自分への勝利」を素直にリスペクトし合えるのだということです。スケートやスキーの多くの種目でもそういう場面を目にし、スポーツは尊いなと感じました。



村瀬選手と同じくらいの年の頃の私は、自分自身のことしか考えられませんでした。自分が少しでも上位になるように、心の中で相手の失敗を願ったり、喜んだりしていたと思います。当時の自分の了見の狭さが今となっては恥ずかしくなります。

皆さんにとっても私にとっても「自分自身との闘い」はこれからも続きます。いざ勝負の時に自分がベストを尽くせるように、弛まぬ努力を続けるとともに、ともに競い闘う相手の努力をもリスペクトできるような人に、皆さんにはなって欲しいし、私自身もなりたいと改めて感じました。

次の冬季五輪は2030 フランスアルプス地方で開催されます。その頃皆さんは何に向かって頑張っているのでしょうか。

鎌倉校外学習（2年生）1／30（金）

1月30日（金）、2年生は鎌倉で校外学習を実施しました。当日は晴天に恵まれましたが、寒さの厳しい一日となりました。校外学習のスローガン「学べ伝統 鎌倉 history 見てるぞ大仏」を胸に、生徒たちは一之江から鎌倉までの移動、鎌倉市内での寺社見学、周辺散策、そして帰路に至るまで、すべて班行動で行いました。観光客で賑わう中でも、互いに声を掛け合い、時間や公共のマナーを意識しながら行動する姿が多く見られました。今回の校外学習で培った協力する姿勢や主体的に学ぶ態度を、来年度の修学旅行をはじめ、今後の学校生活全体に生かし、さらに充実した学びにつなげてくれることを期待しています。



良いお天気に
恵まれました！



(文責：担当 岡島 瑛樹)

百人一首大会 2/3 (火) ③④ (2年生) ⑤⑥ (1年生)

2月3日、本校体育館で行われたのは1、2年生の百人一首大会。形式はちらし取り。対戦相手はクラスの壁を取り払って組み合わせ、メンバーを変えて2回戦実施しました。合計獲得枚数上位8名は個人賞、平均獲得枚数が一番多いクラスはクラス賞として表彰されます。

年明けから、国語の授業の中でも練習を重ねてきました。1年生は初めての百人一首かるたに最初こそ苦手意識をもっていたましたが、練習に取り組むうちにめきめきと実力を伸ばし、すっかり百人一首好きに成長しました。2年生は、練習の成果を実らせ、予想以上の枚数を獲得する生徒が多く出ました。

記録を伸ばしていった皆さんに共通していたのは、“コソ練”。隙あらば国語便覧を広げてひたすら覚える人、インターネット上で見つけた百人一首速取りゲームで鍛錬する人、家族の協力を得て作戦を立てる人、中には、決まり字で取れる句の一覧を密かに貼り出していたクラスも、、、！どの分野でも、力を伸ばすには努力を重ねるに尽きます。

当日は、競技に夢中になるのはもちろん、他クラスの生徒と関わり合い、校長先生や学年の先生の読み上げに拍手が起こり、国語系の司会進行で皆が動き、各学年の温かさが発揮されたのが非常に印象的でした。

せっかくですので、生徒の皆さんに人気だった歌を少しご紹介いたします。

まずは、「ちはやふる神代も聞かず竜田川韓紅に水くくるとは」。こちらは、3年生の教科書に掲載されています。今年の3年生が鑑賞し、クラスで発表してくれました。竜田川を紅葉が紅に染めている。神様が生きた時代にも聞いたことがないほどに非現実的な美しさ。平安貴族文化を象徴するような雅な詠みぶりです。

つぎは、「いま来むといひしばかりに長月の有明の月を待ち出でつるかな」。秋の長夜の間中、待ち人來ぬまま有明の月（夜が明けた空に残っている月）を迎えてしまいました作者。季節に情感を乗せた表現が見事です。

「ちはやふる」「有明の月」など日本人が古くから愛してきた歌ことばに、現代に生きる皆さんが自然と心惹かれるのを興味深く感じています。今回の百人一首大会が、学年のみんなと、古くの日本人



と、心を通わせる時間になったのであれば嬉しく思います。

百人一首大会結果（1年）		敬称略
【団体】優勝	1組（平均36.4枚）	
準優勝	2組（平均34.8枚）	
第3位	3組（平均27.4枚）	
【個人】第1位	（組）	82枚
第2位	（組）	73枚
第3位	（組）	68枚
第4位	（組）	60枚
第5位	（組）	58枚
第5位	（組）	58枚
第5位	（組）	58枚
第8位	（組）	54枚

百人一首大会結果（2年）		敬称略
【団体】	欠席者が多かったため、団体表彰は無しにしました。	
【個人】第1位	（組）	89枚
第2位	（組）	59枚
第3位	（組）	56枚
第4位	（組）	53枚
第5位	（組）	50枚
第6位	（組）	48枚
第6位	（組）	48枚
第7位	（組）	46枚
第7位	（組）	46枚



1年生  /  2年生



百人一首大会、実に熱い闘いが繰り広げられました！

（文責：国語科 長濱 啓）

学校保健委員会・学校給食運営委員会 2/10(火) 12:30~

この会は、学校・保護者・関係機関（学校医・給食委託運営会社等）とで松江六中の保健に関する事、給食に関する事の取り組みについて協議し、課題を洗い出しながら生徒の健全育成のための検討を行う会です。昨年に引き続きオブザーバーとして学務課給食保健係の方をお迎えし、給食の試食に続いて行われました。今年度はご都合により、学校医の出席が叶いませんでしたが、内科・歯科・眼科、薬剤師の先生からの情報を事前にいただき、共有した上で活発な意見交換が行われました。



協議の中で大きな課題として浮かび上がったのは、健診後の受診率の低さです。「要受診」の通知が家庭内でうまく共有されていない実態もあり、早期治療への理解が求められています。また、生活習慣アンケートからは、深夜0時を過ぎて就寝する生徒が2割を超え、起床時にカーテンを開けて日光を取り入れていない生徒が半数以上に上るなど、睡眠の質やリズムの乱れが懸念される結果となりました。

食育の面では、魚や野菜の残菜が献立によって目立つことが話題に上りました。家庭での濃い味付けに慣れている生徒には給食が薄味に感じられる面もありますが、まずは「一口でも食べてみる」という前向きな姿勢を育むことが大切です。学校と家庭が手を取り合い、光を浴びて一日を始め、バランスの良い食事と十分な睡眠で生徒が元気に過ごせるよう、今後ともご協力をお願いいたします。なお、保護者からご要望のあった給食のレシピについては、前向きに検討してまいります。第一弾として「給食だより3月号」をご覧ください。

第五第六ブロック研究協議会 公開授業（1・2年生） 2/12（木）⑤

2月12日（木）、本校にて「総合的な学習の時間」の公開授業を行いました。今回は、東京都中学校進路指導研究会の第五第六ブロック研究協議会を兼ねており、東部8区（台東区・中央区・荒川区・足立区・墨田区・江東区・葛飾区・江戸川区）から大勢の先生方や教育委員会、企業の方々が視察に訪れる中での開催となりました。



今年度のテーマは「接続を意識したキャリア教育」です。先日行われた職場体験「チャレンジ・ザ・ドリーム」の報告会を、2年生から1年生へ伝える「ポスターセッション形式」で実施しました。

体育館と多目的室には事業所ごとに34のブースが設けられ、1年生はグループごとに興味のあるブースを3箇所回り、先輩の説明に耳を傾けました。

2年生は、職場での体験内容や学んだこと、そして来年度体験する1年生へのアドバイスを、何とか「自分の言葉」で伝えようと奮闘していました。

一方の1年生も、メモを取りながら「何が一番嬉しかったですか？」「職場でのコミュニケーションで気をつけることは？」など、いずれ自分が体験することとして真剣に質問。2年生がそれに対して適切に応じることで、互いの理解が深まると同時に、双方のコミュニケーション能力やプレゼンテーション力が磨かれていく、活気ある交流の場となりました。

会の締めくくりには、一堂に会した体育館で、代表生徒が浅沼先生とのインタビュー形式で感想を述

べましたが、どの生徒もメモに頼らず、堂々と自分の考えを表現していました。

学年を超えた交流を通じて、本校の目指す「自分の思いや考えを相手にしっかり伝えることができる生徒」が確実に育っていることを実感できた、素晴らしい公開授業となりました。

他市区の先生方からは、校舎をととてもきれいに使っていること、生徒たちがとても落ち着いていること、どの生徒も素直で一生懸命であること、先輩と後輩の関係、先生と生徒との関係がとても良いことなどを褒めていただき、嬉しく思いました。



土曜授業公開 2 / 14 (土)

2月14日(土)、今年度最後となる土曜授業公開を実施しました。3年生については、一週間後に控えた都立高校一般入試への影響(感染症予防等)を考慮し、残念ながら非公開とさせていただきました。それでも、中学校生活最後の勇姿を少しでも目に焼き付けようと、換気のために開けたドアの隙間からそっと見守る保護者の姿が印象的でした。

当日はご多用中にもかかわらず、121名(1年47名、2年55名、3年19名)もの方にご来校いただきました。また、新入生保護者説明会に参加された皆様や、入学を控えた小学6年生の姿も見られました。

2年生はあとひと月で最上級生に、1年生は先輩となります。授業での真剣な表情を通し、お子様の成長の早さと中学3年間の時間の速さを改めて感じていただけたのではないのでしょうか。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



新入生保護者説明会 2 / 14 (土)

土曜学校公開日に合わせ、本校多目的室にて新入生保護者説明会を実施しました。入学を控えた保護者の皆様に、本校を選んでいただいたことへの感謝を伝えるとともに、改めて「松江六中の強み」を共有する貴重な時間となりました。

校長からは、全校生徒約 300 名という規模を最大限に活かした、本校の 5 つの魅力についてお話しさせていただきました。

1. 全教職員による見守り：全教職員が全生徒を把握し、一人ひとりに寄り添います。
2. 全員が主役：生徒全員に必ず活躍の場がある環境です。
3. 温かな校風：「あいさつ」と「ありがとう」が溢れるアットホームな学校です。
4. 縦のつながり：先輩が後輩を思いやる、面倒見の良い伝統があります。
5. 熱意ある教職員：信頼できるスタッフが揃っています。

続いて、各担当より入学に向けた具体的な説明を行いました。教育活動について（木村主幹教諭）、学校生活のルールについて（後藤主任教諭）、アレルギー対応について（高須主任養護教諭）、諸経費・入学準備・事務連絡（堀米副校長）

小緑 P T A 会長からは、「3 年後には、きっとこの学校に入れて良かったと思える」という心強いお言葉をいただきました。その言葉を受け、私たち教職員一同、保護者の皆様の期待を裏切ることのないよう、改めて身の引き締まる思いがいたしました。

常に「生徒を真ん中に」置き、保護者・地域の皆様と手を取り合って、大切なお子様を育ててまいります。P T A 本部役員の皆様も、お忙しい中詳しいご説明をありがとうございました。

第 3 回学校評議員会 2 / 1 4 (土)

今年度 3 回目となる学校評議員会を開催いたしました。当日はご多用中にもかかわらず、評議員の皆様全員にご出席をいただきました。

校長からのあいさつに続き、各主任（教務・生活指導・進路指導・保健）より今年度の教育活動の歩みを報告し、その後、評議員の皆様から本校の教育活動に対する貴重なご意見やご感想をいただきました。

生徒たちの活動については、地域の運動会やお祭り、防災訓練などにボランティアとして積極的に参加する姿に多くの感謝の言葉をいただいたほか、日頃の元気な挨拶についても高く評価していただきました。また、教職員が生徒一人ひとりに寄り添い、悩みや声に真摯に耳を傾けている姿勢や、生徒同士のトラブル、別室登校への支援など、課題に対して速やかに対応していることへの信頼の声も寄せられました。

全体として「学校が良い方向に変化している」「生徒の成長がよく見える学校である」との励ましをいただくとともに、地域の皆様からは「規模や設備の新しさだけでなく、ぜひ松江六中を誇りをもって進学先に選んでほしい」という温かい期待が語られました。

このように、本校が前向きな変化を続けていけるのも、日頃から生徒たちを温かく見守り、活動を支えてくださる地域の皆様のご理解とご協力があってこそです。厚く御礼申し上げます。

今後も、本校の良さを伸ばしながら、地域と共に歩む学校づくりに努めてまいります。



六中生の活躍（令和7年9月～令和8年1月）

（敬称略）

男子ソフトテニス部

江戸川区中学校ソフトテニス冬季強化研修大会 男子個人

1/11 個人戦（谷河内テニスコート）				
	(2-2)・	(2-3)	ペア	第5位
	(2-1)・	(1-1)	ペア	第5位

女子ソフトテニス部

江戸川区中学校秋季総合体育大会

9/20 個人戦（谷河内テニスコート）				
	(2-2)・	(2-1)	ペア 準優勝	都大会出場
9/23 団体戦（谷河内テニスコート）				
第5位 都大会出場				
	(2-2)	(2-1)	(2-1)	(2-3)
	(2-1)	(2-1)	(2-3)	(2-3)



東京都中学校ソフトテニス新人大会

10/26 個人戦（有明テニスの森）				
2回戦	(2-2)・	(2-1)	ペア 4-2	足立六（足立）
3回戦	(2-2)・	(2-1)	ペア 0-4	清明学園（大田）
11/9 11/16 11/30 団体戦（有明テニスの森）				
1回戦	松江六 2-1	大宮（杉並）		
2回戦	松江六 2-1	大久野（西多摩）		
3回戦	松江六 3-0	豊玉二（練馬）		
4回戦	松江六 0-3	立石（葛飾）	東京都ベスト16	
	(2-2)	(2-1)	(2-1)	(2-3)
	(2-1)	(2-1)	(2-3)	(2-3)

江戸川区中学校ソフトテニス冬季強化研修大会 女子個人

1/11 個人戦（谷河内テニスコート）				
	(2-2)・	(2-1)	ペア	第3位
	(2-1)・	(2-3)	ペア	第5位

陸上部

第58回江戸川区立中学校秋季総合体育大会（9/14 江戸川区陸上競技場）

男子中学1年100m	第7位	13秒22	(1-3)
男子中学3年100m	第5位	11秒56	(3-2)
男子中学共通200m	第6位	24秒60	(3-1)
男子中学1・2年100mH	第5位	19秒21	(1-1)
男子中学共通110mH	第3位	16秒18	(3-2)
男子中学共通110mH	第6位	19秒02	(3-1)
男子中学1・2年走幅跳	第4位	4m98	(2-1)
男子中学共通走幅跳	第3位	5m99	(3-2)
男子中学1・2年砲丸投	第1位	9m56	(2-3)
男子中学共通砲丸投	第3位	7m18	(3-2)
女子中学1・2年走幅跳	第2位	4m19	(2-1)
女子中学共通走幅跳	第5位	3m79	(3-2)



女子中学共通走高跳	第7位	1 m 2 5	(3-2)
女子中学共通砲丸投	第2位	7 m 6 1	(3-2)
女子中学1年4×100mR	第6位	1分01秒70	
	(1-3)	(1-3)	(1-1) (1-1)
女子中学共通4×100mR	第7位	1分00秒60	
	(2-1)	(3-2)	(3-2) (3-2)

第78回江戸川区秋季区民陸上競技大会 (9/23 江戸川区陸上競技場)



男子中学1年100m	第4位	12秒94	(1-3)
男子中学3年100m	第7位	11秒94	(3-1)
男子中学共通110mH	第2位	16秒49	(3-2)
男子中学1年4×100mR	第4位	51秒55	
	(1-3)	(1-3)	(1-1) (1-3)
男子中学2年4×100mR	第3位	50秒02	
	(2-2)	(2-1)	(2-3) (2-1)
男子中学共通4×100mR	第2位	46秒60	
	(3-2)	(3-1)	(3-1) (3-2)
男子中学共通走幅跳	第3位	5 m 8 7	(3-2)
男子中学共通砲丸投	第3位	8 m 4 2	(2-3)
女子中学200m	第6位	31秒43	(1-1)
女子中学1年800m	第4位	3分04秒18	(1-1)
	第5位	3分05秒99	(1-2)
女子中学1年4×100mR	第5位	1分00秒82	
	(1-3)	(1-1)	(1-3) (1-1)
女子中学4×100mR	第6位	1分02秒60	
	(2-1)	(2-3)	(3-2) (3-2)
女子中学共通走高跳	第4位	1 m 3 0	(3-2)
	第7位	1 m 2 0	(1-3)
女子中学共通砲丸投	第2位	8 m 7 1	(3-1)
	第4位	7 m 0 9	(3-2)



第64回東京都中学校ロードレース大会 (1/25 江東区夢の島競技場)

男子中学1年2km競走	第6位	6分56秒	(1-3)
-------------	-----	-------	-------

令和7年度「税についての作文」

江戸川北納税貯蓄組合連合会優秀賞

(3-1)	(3-1)
-------	-------



令和7年度「江戸川区中学校読書感想文コンクール」

佳作	悠 (1-2)	(1-2)
----	---------	-------



令和7年度「環境をよくする絵画コンクール」

区長賞	(2-1)	(2-2)	(2-3)
	(2-2)	(2-2)	(2-3)
協議会長賞	(2-1)	(2-1)	(2-1)
	(2-2)	(2-2)	

生徒会主催落ち葉掃きボランティア（12/12～19）

1 - 1

1 - 2

1 - 3

2 - 1

2 - 2

2 - 3

3 - 1

3 - 2

3 - 3

生徒会役員

3月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
3/3	火	避難訓練	○	17	火		○
4	水		○	18	水	給食終（3）	○
5	木	専門委・中央委	○	19	木	卒業式	×
6	金	薬物乱用防止教室（3）	○	20	金	春分の日	
7	土	P T A年度末総会		21	土		
8	日			22	日		
9	月	生徒会朝礼 特別時間割（3）	○	23	月	生徒会朝礼 球技大会（2） 保護者会（1・2）	12
10	火	都立二次・分割後期入試	○	24	火	球技大会（1）大掃除 給食終（1・2）	12
11	水		○	25	水	修了式 新入生登校日	×
12	木	遠足（3）数学総合検定（1・2）	12	26	木	春季休業日始	
13	金	3年生を送る会	○	27	金		
14	土			28	土		
15	日			29	日		
16	月	朝礼 卒業式予行 安全指導	○	30	月		